

男の魅力：日本とアメリカにおける認識比較調査

スティーブン・シルバート

カリフォルニア州立大学モントレイベイ校

要旨

魅力とは何か。その認識はその国の文化と深く関わっている。外見、性格、感情、経歴等、これらの要素はすべて男性が女性を目を引くために重要な役割を果たしている。この研究では、男性に対して女性はどうなところに引きつけられるか。また、男性はどのような点に気を配り、お金をかけるのか。そして、男性の魅力に対する認識が女性に対する認識とどのように相違しているかをアンケート調査した。その結果、ほとんどの日本人は同じ価値観を共有しているのに対し、アメリカ人は個人によって異なる価値観を持っているため、普段気にかけている事はそれぞれ個人によって違う事が分かった。また、日本の女性は高所得、経歴にこだわりがあることが分かった。

1. はじめに

アメリカの雑誌やテレビを見れば、色々なたくましい男性が必ずあらわれる。一方、日本のメディアでは、細く、おしゃれな洋服を着る男性が表れる。これらの男性はアメリカと日本の女性にとって魅力的なのか。また、男に対して身体的・ライフスタイル・性格的・学経歴の特徴の中で、アメリカと日本の女性にとってどれが一番魅力的なのか。ということ私を私が留学している時からずっと考えていた。この研究を通して、男の魅力をもう少し深く掘り下げたい。

2. 研究の重要性

私がこの研究を行った理由は、日本に留学中、日本男性は洋服の着方や自己表現などが、アメリカ男性とは異なっていることに気が付いたからである。また、これらの違いはそれぞれの国で魅力に対する認識の違いを表しているのかもしれない。そして、私は、身体的、精神的、または洋服や化粧などの表面的な要素の中から、どの要素が日本やアメリカで異性を引き付けるために最も重要な役割をしているのかを明らかにしたいと思ったからである。

3. 研究質問

1. 日本とアメリカで、男性が女性の気をひくためにどこに気を配るか。
2. 日本とアメリカで、女性は男性のどこに最も惹かれるのか。
3. 日本とアメリカで、男性の魅力に対する認識が女性の魅力に対する認識とどのように相違しているか。

4. 研究背景

「魅力」の科学、日本とアメリカでの自己表現の仕方、日本での「男性の魅力」、集団主義文化と日本人男性の美容ケア、雑誌・広告上での男性、男性アイドル、以上の点に着目する。まず始めに、Currie(2009)の「魅力」に関する研究では、「魅力」を認識する上で顔が体よりも重要であるとしている。また、Gangestad(2005)は魅力における進化論について、腰の比率よりも大きな肩は魅力的であるし、高収入であることや、社会的に良い地位についている男性も、子供を養うことができるため、魅力的であると述べている。

次は、日本とアメリカの自己表現の仕方についてである。Yamagishi(2012)は自身の研究で、一般的な人間が肯定的な観点で自分を見るときに傾向は世界共通ではないと述べている。日本人は、自分自身を他者のニーズに合わせて行動する相互依存の存在だと考えており、日本人男性は、他者を侮辱することを避けるために、控えめに振る舞う傾向があるようだ。一方のアメリカ人は、自分を肯定的に考え、他者に頼らず行動する独立した存在だと思っている。また、アメリカ人男性は自己評価中は自己高揚しがちであると、同研究で述べられている。

日本での魅力的な男性の典型的な特徴は、背が高い、たくましい体、対称的な顔、広い肩に引き締まったウエスト、自信家な性格などである。これらの特徴を持つ男性は、日本で「肉食系」と呼ばれている。その一方で、Engelhartによると「草食系」と呼ばれる男性たちが日本で新たに現れたようだ。この「草食系」という言葉は2007年に作家の深澤真紀さんによって作られた造語で、近年増加している、より“女性的”な男性という意味を表している。最近の研究では、20～34歳の日本人男性の60%がこのカテゴリーに当てはまるということが明らかにされた。

ここで、肉食系男子と草食系男子を比較してみる。肉食系男子の特徴は、色黒の肌、たくましい、明るい髪色、つんつんとがった髪型、性に対して積極的、強い・または競争的、スーツや革製の洋服を好む、などである。草食系男子の特徴としては、色白の肌、細い、暗めの髪色、ナチュラルな髪型、性に対して無関心、母親との距離がちかひ、タイトな洋服や布製の服を好む、などが挙げられる。

次に、集団主義文化と日本人男性の美容ケアについて説明する。

Trandis(1988)の研究によると、日本はよく集団主義文化と表され、その文化では、個人的な目標の重要性は社会での目標の重要性よりも低いことが明らかになった。

また、Kyodo(2012)の研究から、20代、30代の日本人男性は「イケメン」という言葉に影響されているということが分かった。同研究で、大阪で働くパティシエ(34歳)は「もし自分の身なりがだらしなかったら、友達と遊びに行くときに彼らが自分といることで恥ずかしい思いをするかもしれない。また、私自身、お客さんに好印象を与えたい。」と述べている。近年、他人の印象を気にして、美容ケア製品を使う男性は増加している。特につめ、肌、髪の毛のケアに力を入れている男性が増えているようだ。2011年に行われた調査では、東京在住の日本人男性の中には、買い物の度に美容ケア製品に約1万1千円使う人もいるという結果を示している。

では、男性は雑誌上ではどのように描かれているだろうか。アメリカでは、フィットネス重視の雑誌に人気が集まっていて、誌面にはたくましい男性が掲載されている。雑誌のコンセプトとしては、「より男らしくなるために」などというものが多い。一方の日本は、ファッションを重視した雑誌の人気が高く、誌面には細めで現実的な男性が掲載されている。雑誌の内容としては、季節ごとのファッショントレンドについて特集されていることが多い。この傾向は集団主義の考え方からきていると思う。

次に広告上での男性の描かれ方について取り上げる。アメリカの広告では、たくましい男性と細い男性の両方が掲載されているが、日本の広告よりも「たくましき」を強調している。また、人ごみの中でどのように目立つか、というメッセージを表しているものが多い。日本の広告では、掲載されているほとんどの男性が細く、広告上では「イケメン」という言葉を強調している。どのように人ごみと調和するか、というコンセプトを表しているものが多い。

次にアメリカと日本の男性アイドルを比較したいと思う。アメリカの男性アイドルの人気は、2000年を境に減少している。彼らはアメリカの傾向である「男らしいファッション」をしている。日本での男性アイドルの人気は上昇しており、日本の傾向である「イケメンファッション」を反映している。日本における男性アイドルの人気、アメリカでの男性アイドルの不人気は各社会の一致・不一致に対する傾向を表していると考えられる。

5. 研究方法

この研究には日本人男子学生 19 名、女子学生 31 名、計 50 名の日本人学生と、アメリカ人男子学生 20 名、女子学生 34 名、計 54 名のアメリカ人、全体で 104 名の大学生に協力していただいた。英語でのアンケートと日本語でのアンケートを用意し、オンラインで研究参加者にアンケートを受けてもらった。

6. 人口統計

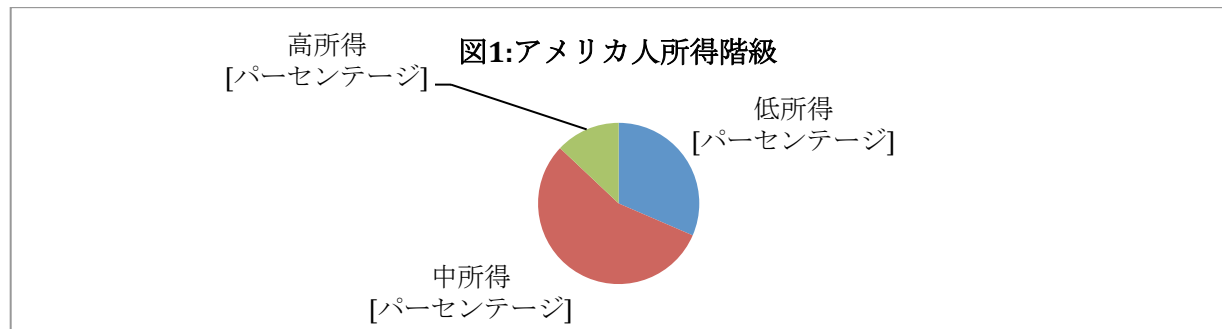


図 1 から分かるようにアメリカ人の所得階級は、低所得 31%、中所得 56%、高所得 13%という結果であった。

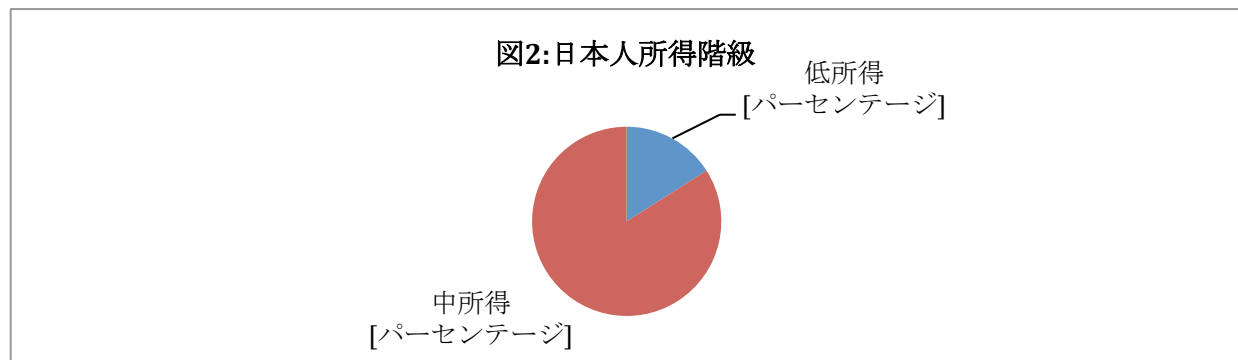
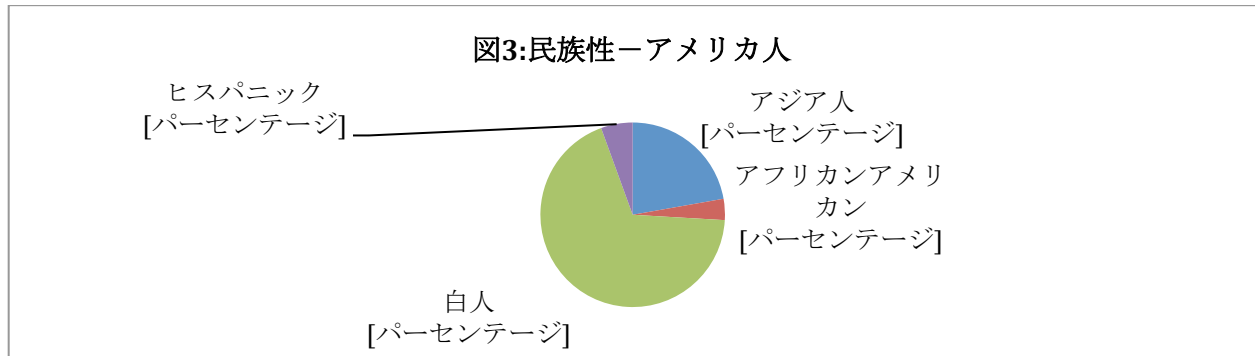
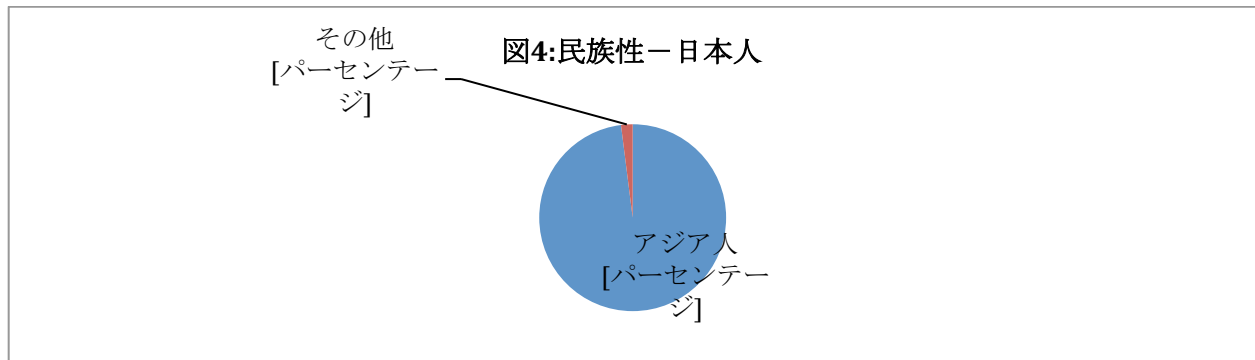


図2から分かるように日本人は低所得が16%、中所得84%で、高所得と回答した人はいなかった。



アメリカ人の民族統計は、アジア人 22%、アフリカンアメリカン 4%、白人 68%、ヒスパニック 6%だった (図3 参照)。



日本の民族統計は98%がアジア人で、残りの2%はその他と回答した (図4 参照)。

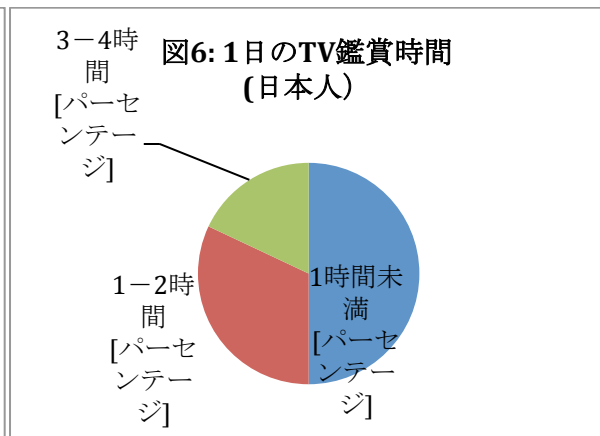
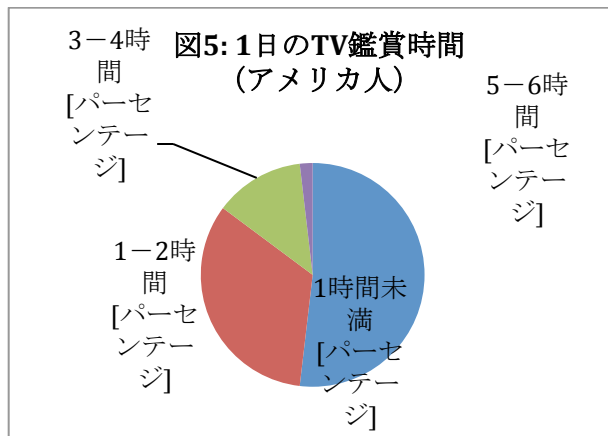


図 5, 6 から分かるようにアメリカ人・日本人ともに約半数の人々が1時間未満、30%は1-2時間、13-18%の人が3-4時間と回答した。

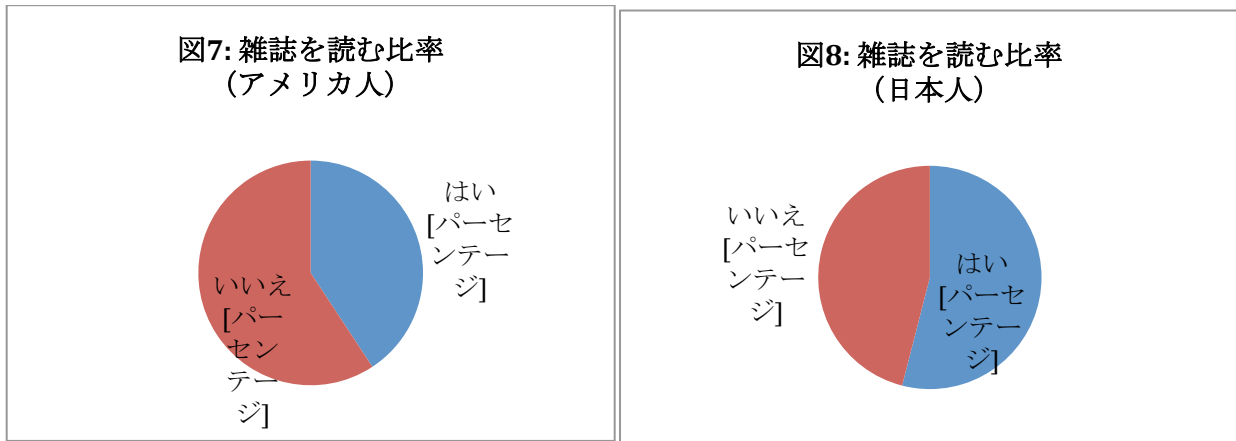
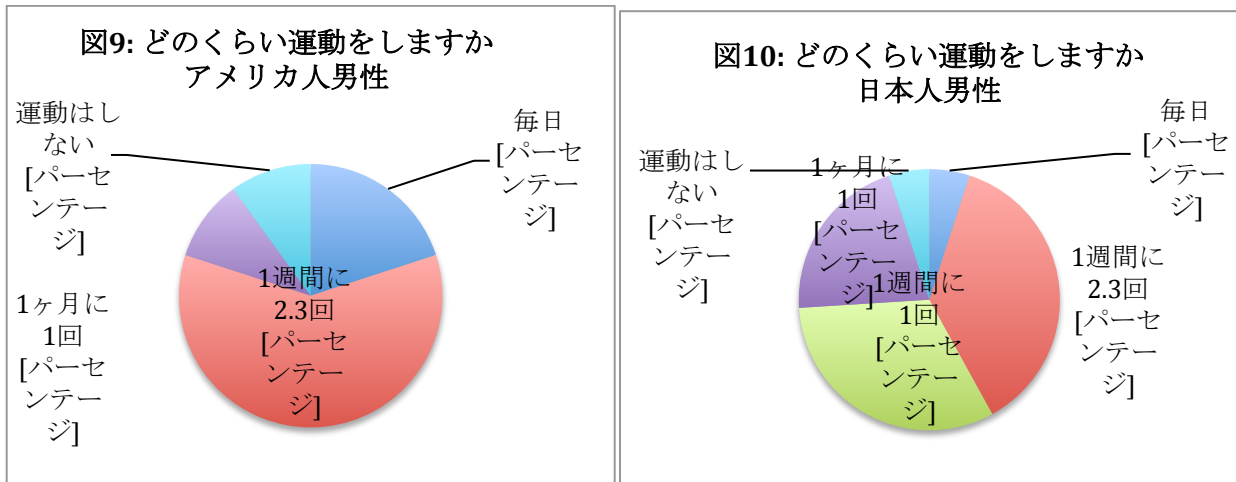


図 7, 8 から分かるように雑誌を読む比率を表していて、この結果から日本人の方が10%ほど多く雑誌を読むことが分かった。

7. アンケート調査の結果

7.1. 日本とアメリカで、男性が女性の気をひくためにどこに気を配るか。



「どのくらい運動をしますか？」という質問について、図 9, 10 から分かるようにアメリカ人男性のほうが日本人男性よりも運動を頻繁に行うということが分かった。

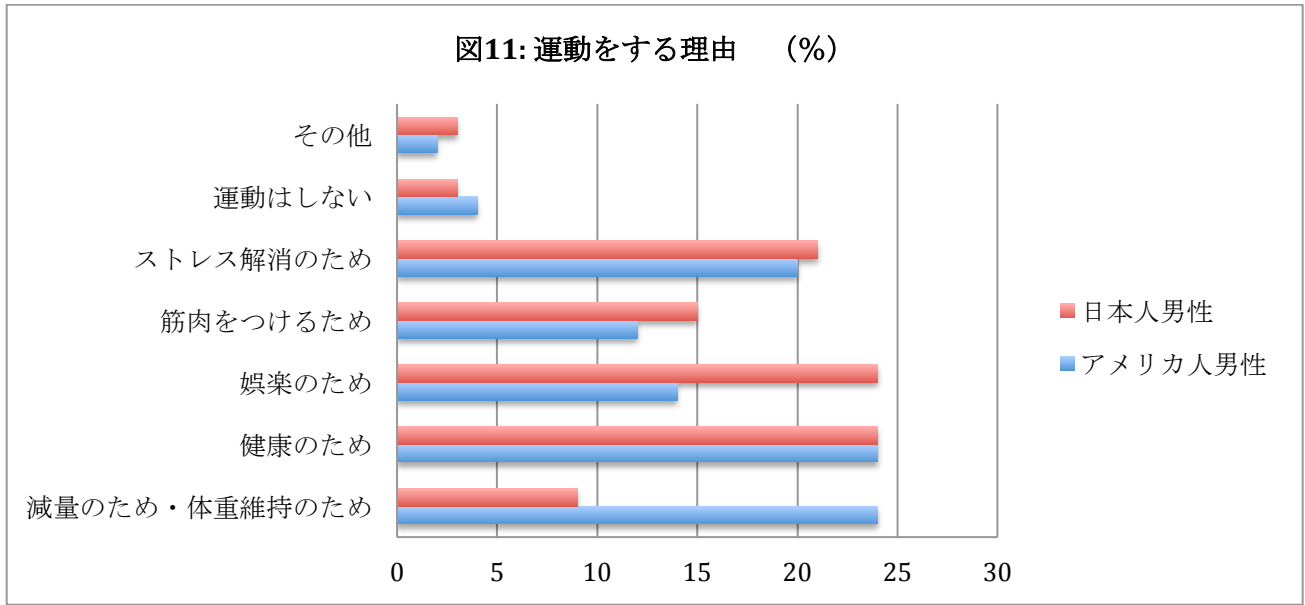
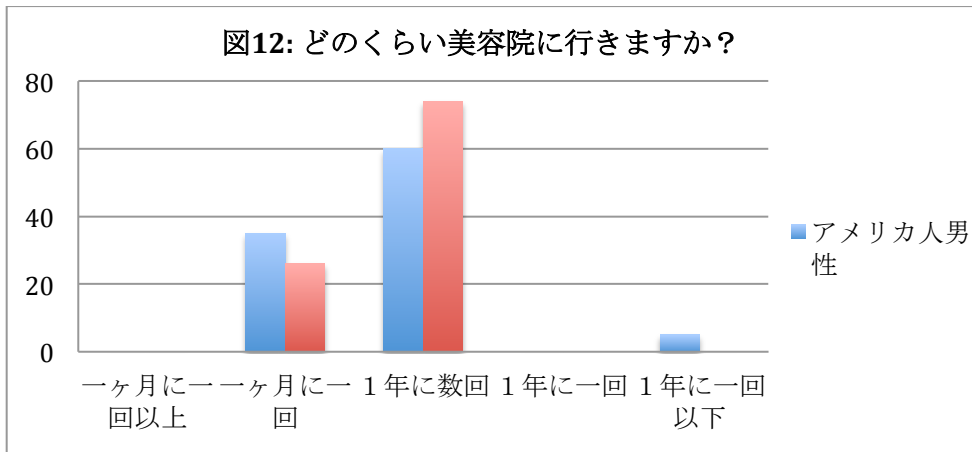
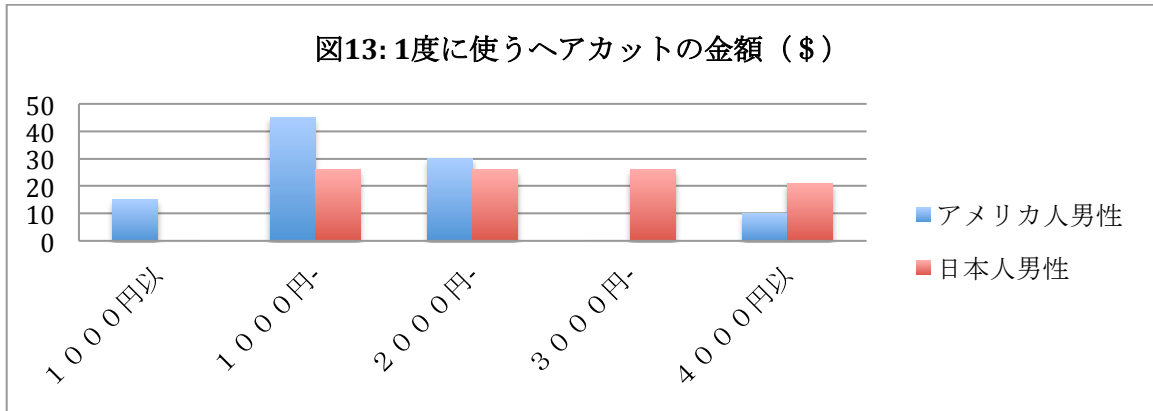


図 11 は運動をする主な理由についての結果を示したものである。全体的に、アメリカ人男性と日本人男性の運動する理由は同じであることが分かった。しかし、日本人男性はアメリカ人男性よりも娯楽のために運動をし、アメリカ人男性は減量のためや体重維持のために運動を行うという違いが見られた。



次は髪の毛のケアについて尋ねたアンケート結果である。アメリカ人男性も日本人男性も、ほぼ同じ頻度でヘアサロンや美容室に通っていることが見てとれる（図 2 参照）。



しかし、日本人男性はアメリカ人男性よりも、ヘアカットにお金を多く費やす傾向があることが分かった (図 13 参照)

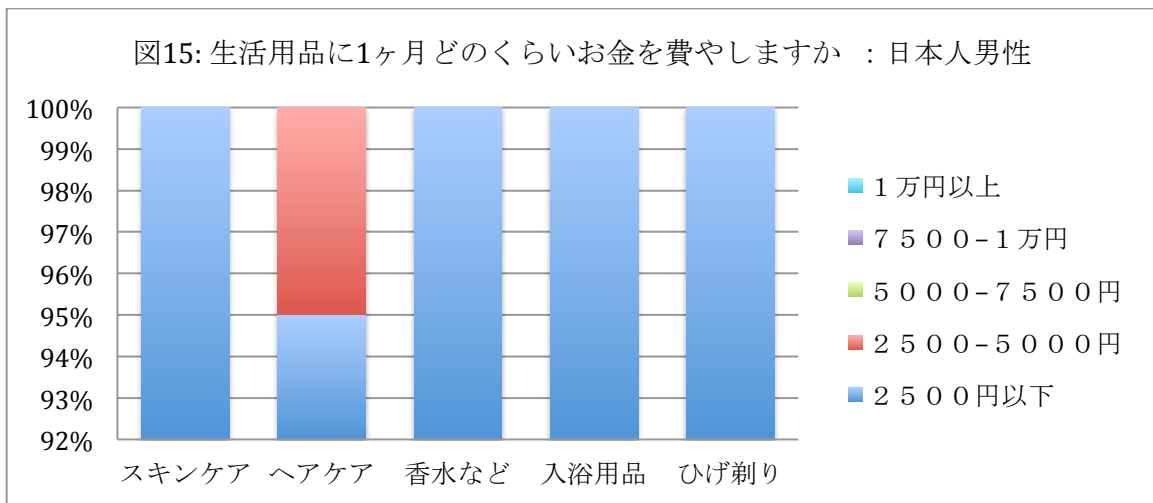
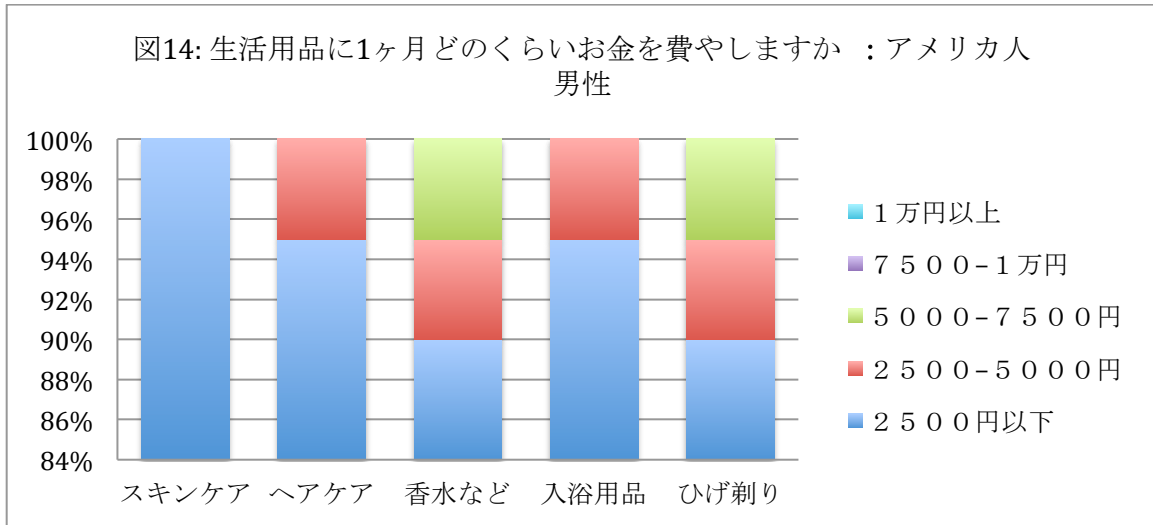
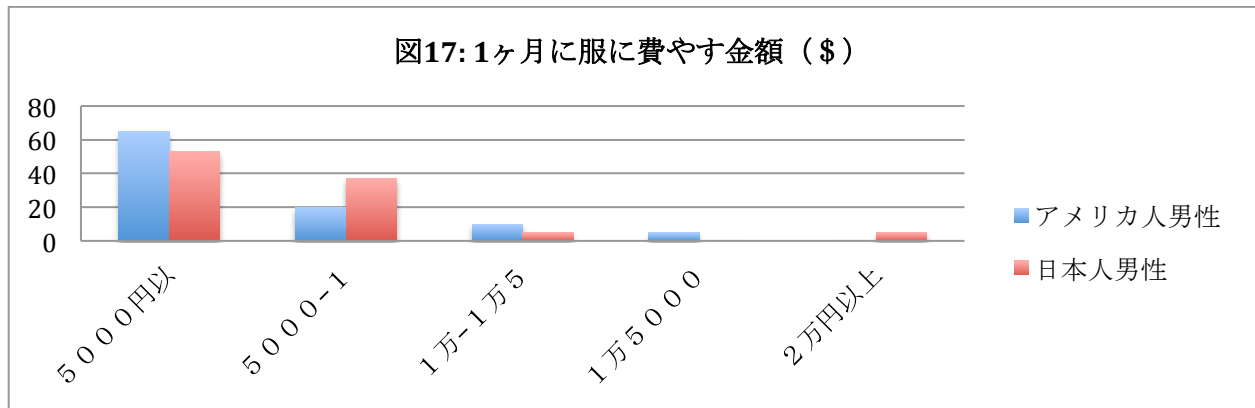
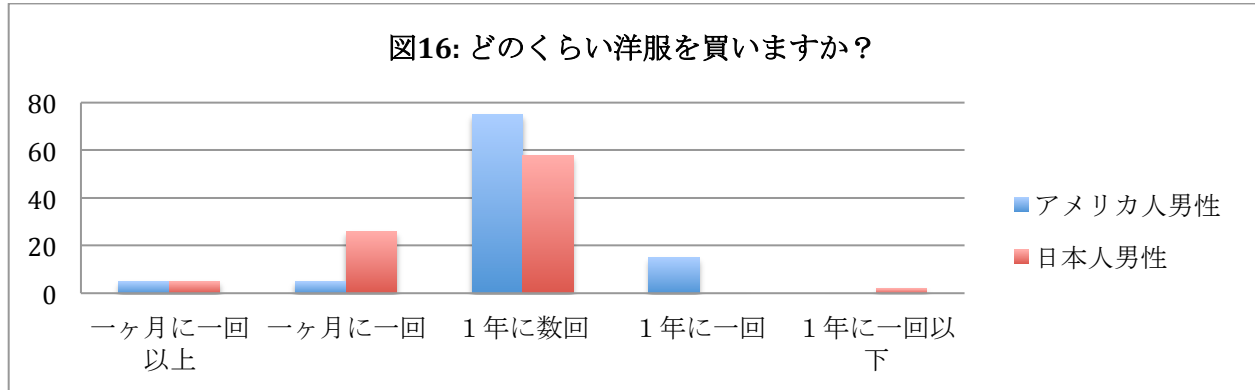


図 14, 15 から分かるようにアメリカ人男性が、香水や、ひげ剃りなど顔に使う製品によりお金をかける一方で、日本人男性は髪の手入れの製品によりお金を費やす傾向があるようである。



次は洋服についての質問に対するアンケート結果である。この結果から、日本人男性は、アメリカ人男性よりも洋服にお金をかける傾向があり、洋服を買いに行く頻度も高いことが明らかになった (図 16, 17 参照)。

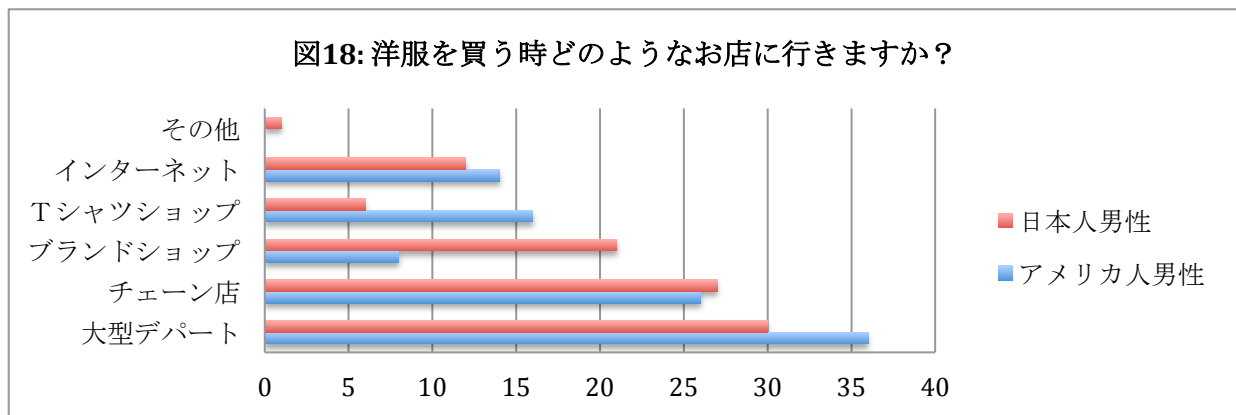


図 18 から分かるように日本人男性はブランドショップで買い物をすることが多く、アメリカ人男性はTシャツショップや大型デパートなど、値段が手ごろな店で買い物をすることが多いということが分かった。

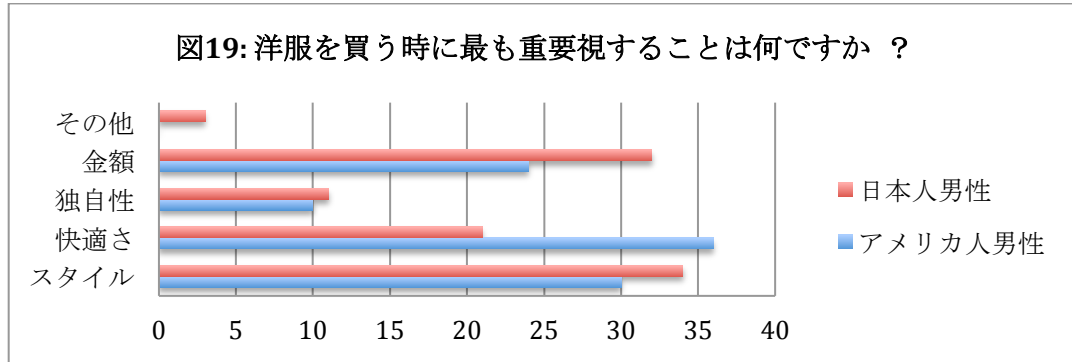
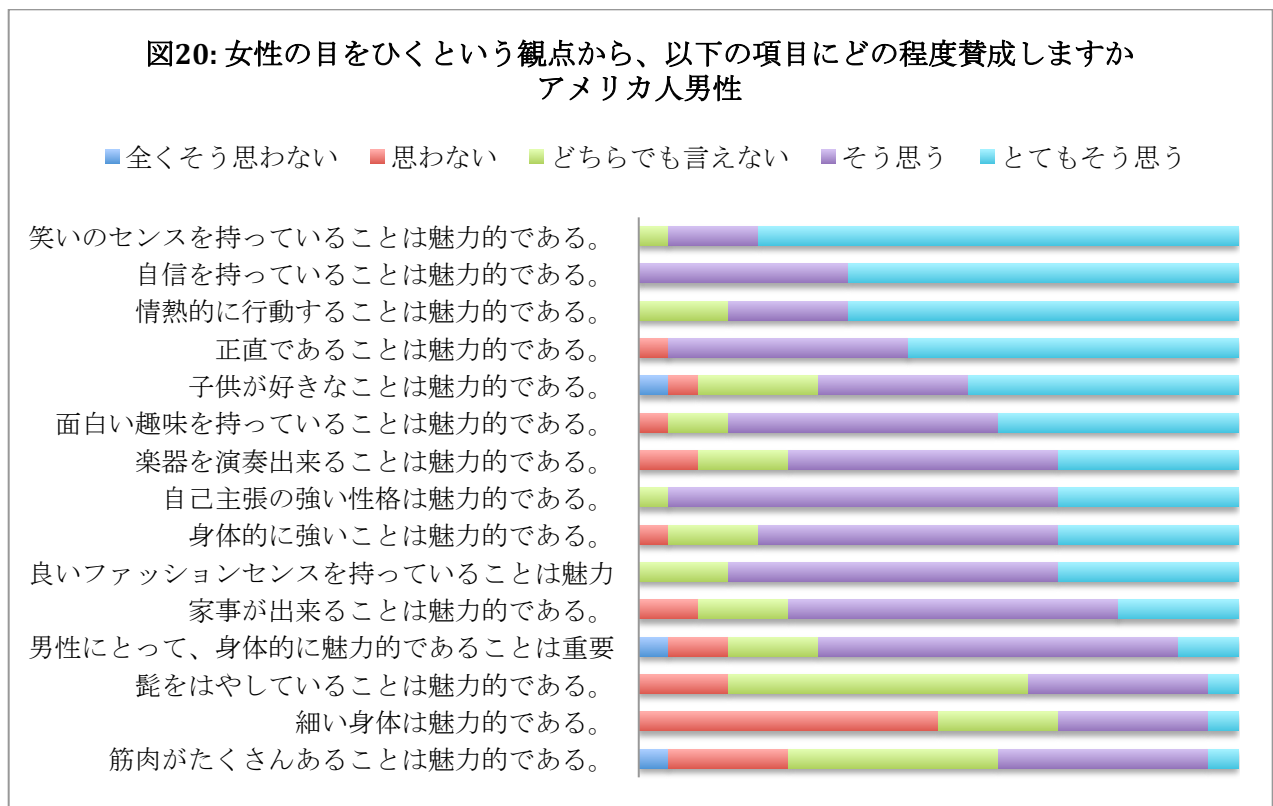


図 19 から分かるように日本人男性が金額とスタイルを重視する一方で、アメリカ人男性は快適さ、またスタイルを重要視しているようだ。



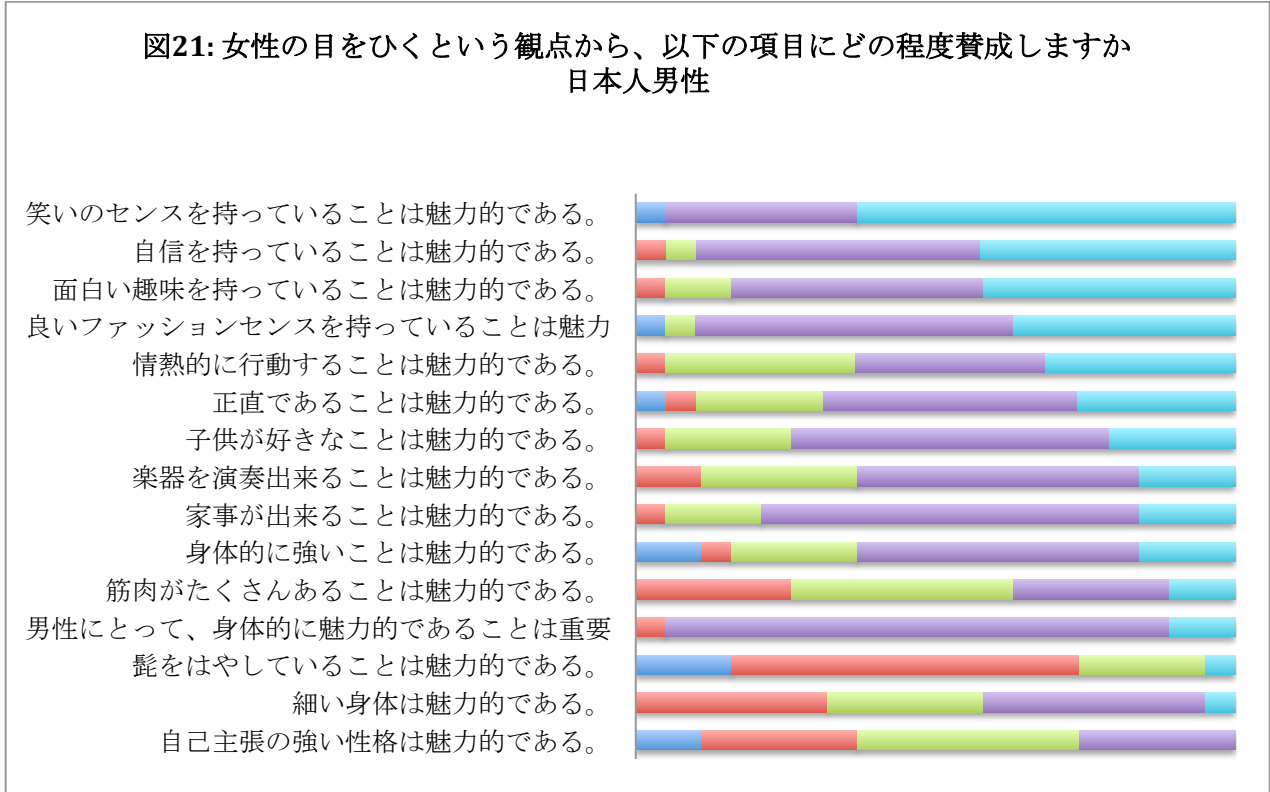


図 20, 21 から分かるようにアメリカ人男性と日本人男性の考えとして、笑いのセンスを持っていること、自信を持っていること、また身体的に強いことは魅力的であり、男性にとって、身体的に魅力的であることは重要であるという 4 つの点が、両国家間での共通点として挙げられる。反対に相違点としては、アメリカ人男性は、正直であること、自己主張の強い性格を持つこと、また、情熱的に行動することは魅力的であると、日本人男性よりも強く考えている。

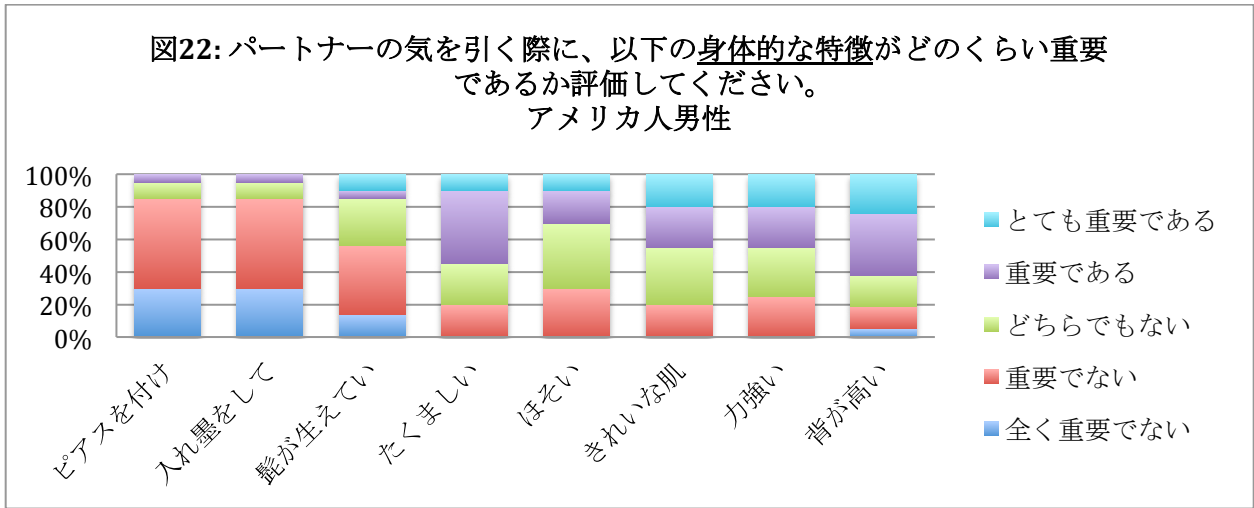
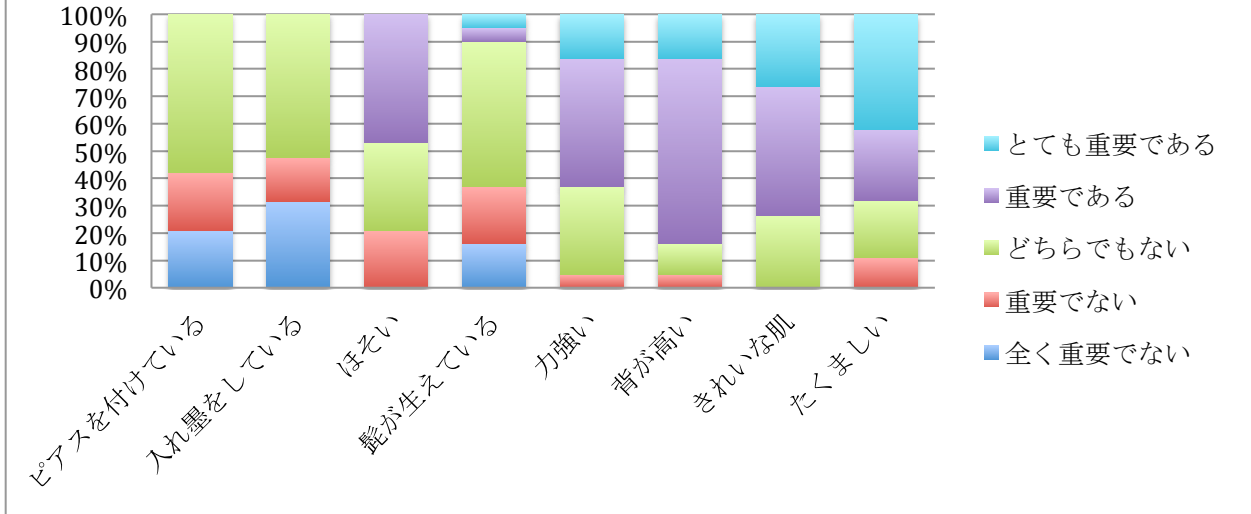


図24: パートナーの気を引く際に、以下の身体的な特徴がどのくらい重要であるか評価してください。
日本人男性



全体的に、日本人男性はアメリカ人男性が考えるよりも20%程度多く、異性を引き付ける際には、力強い、背が高い、肌がきれい、たくましい、ということが重要であると感じる傾向があることが分かった（図22, 23参照）。

図24: パートナーの気を引く際に、以下のライフスタイルの特徴がどのくらい重要であるか評価してください。
アメリカ人男性

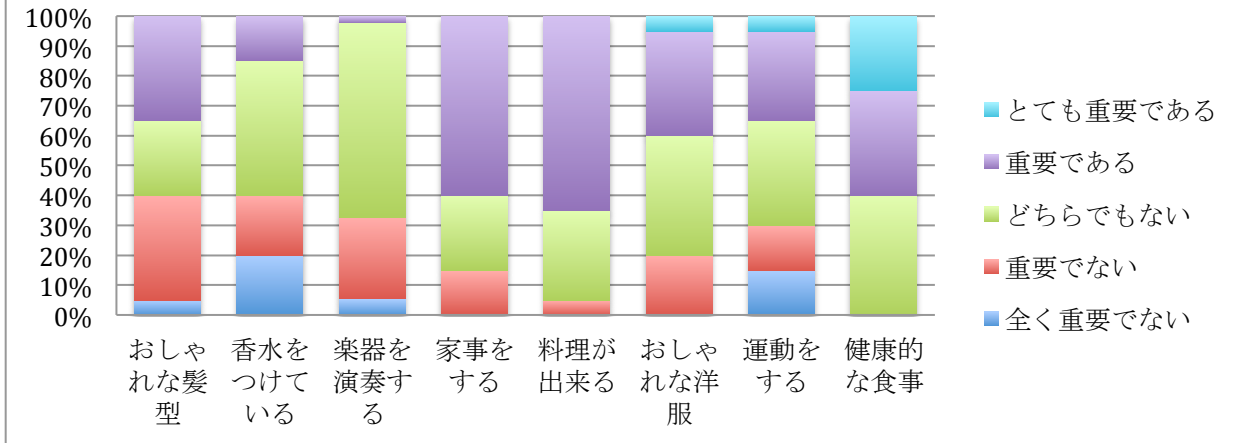


図25: パートナーの気を引く際に、以下のライフスタイルの特徴がどのくらい重要であるか評価してください。
日本人男性

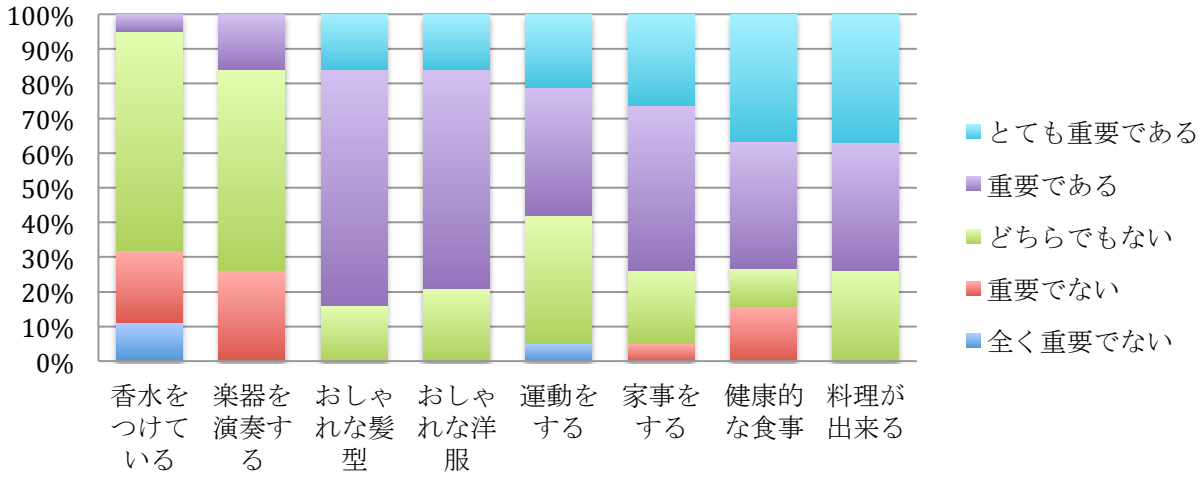
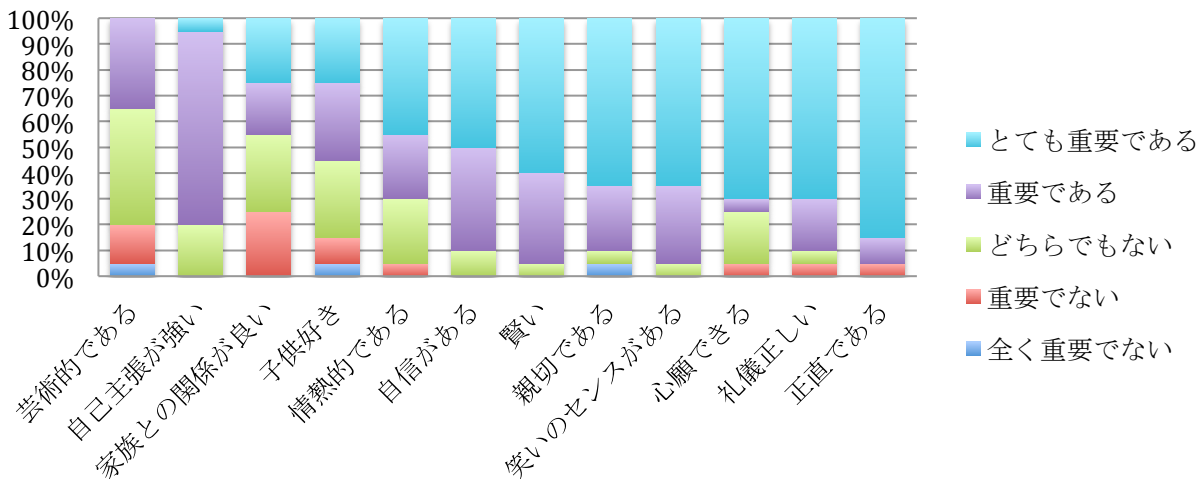
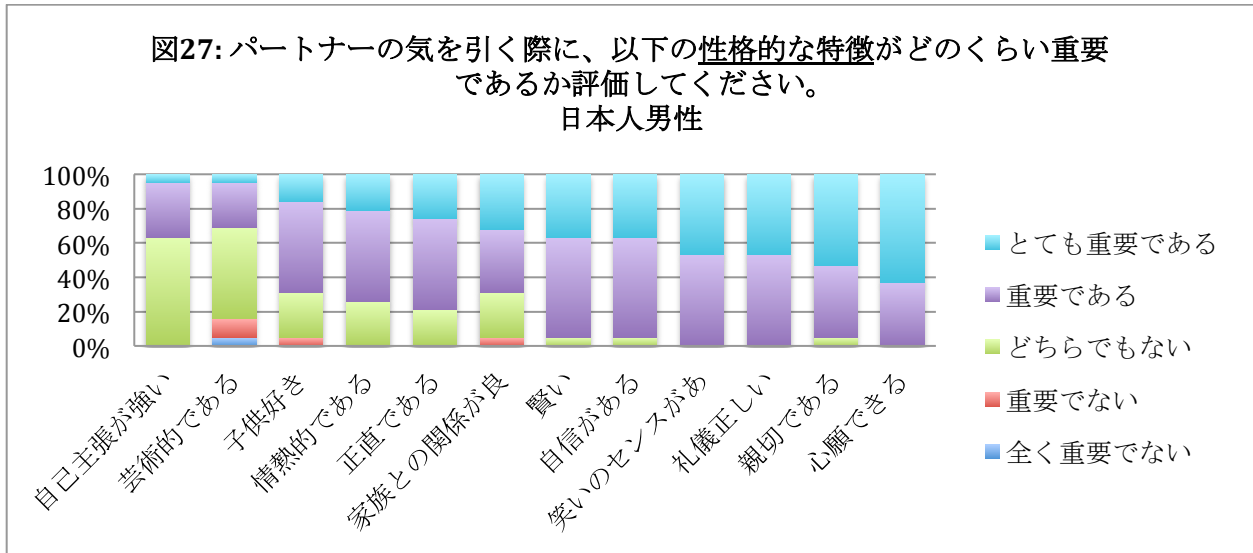


図 24, 25 から分かることは3点ある。まず一つ目に、アメリカ人男性・日本人男性も共に、健康的な食事、運動をすること、料理や家事ができることは女性を引き付けると考えていることである。二つ目は、両者共に、楽器を演奏する、香水をつけていることはそれほど重要だと思っていないこと。最後に、日本人男性はアメリカ人男性よりも、おしゃれな髪形や洋服などの外見に関わることは重要であると思っているということである。

図26: パートナーの気を引く際に、以下の性格的な特徴がどのくらい重要であるか評価してください。
アメリカ人男性





全体的に、アメリカ人男性と日本人男性のランキングの順位は似ているということを見つけた。しかし、アメリカ人男性は「とても重要である」を日本人男性よりも多く選択している。また、日本人男性は「家族との関係が良い」を、アメリカ人男性よりも高く評価し、アメリカ人男性は「正直である」を、日本人男性よりも高く評価しているということが分かった（図 26, 27 参照）。

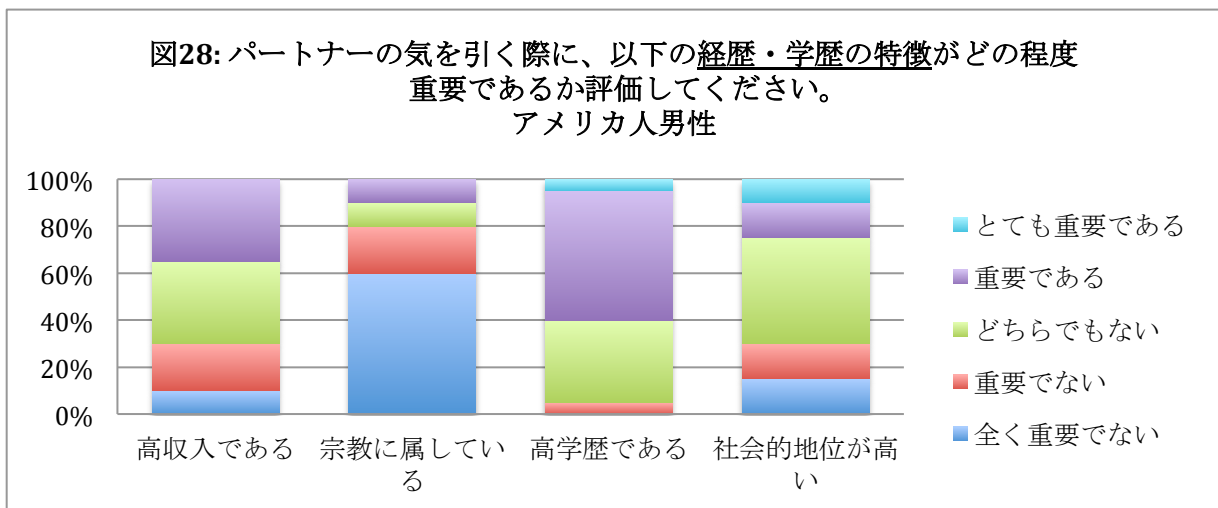
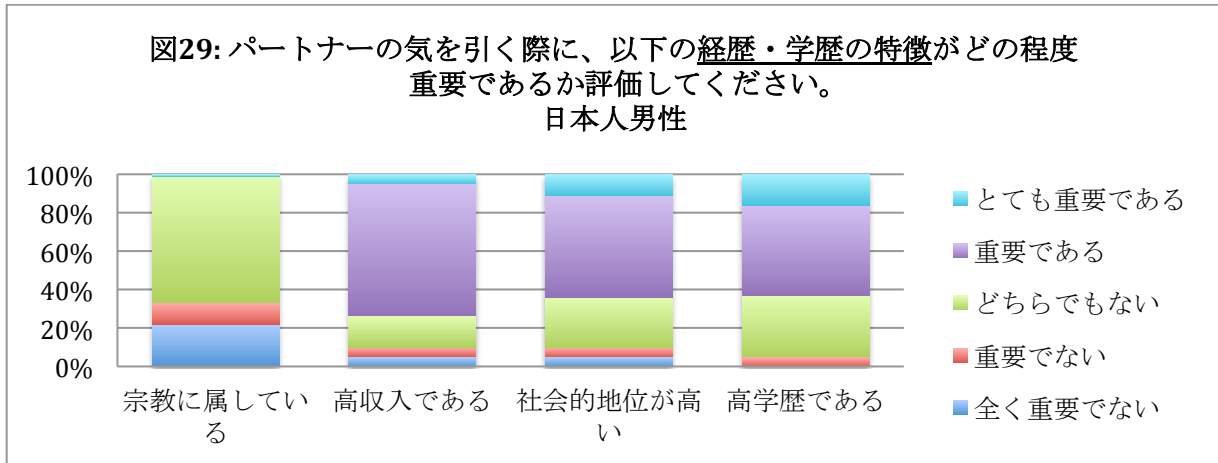
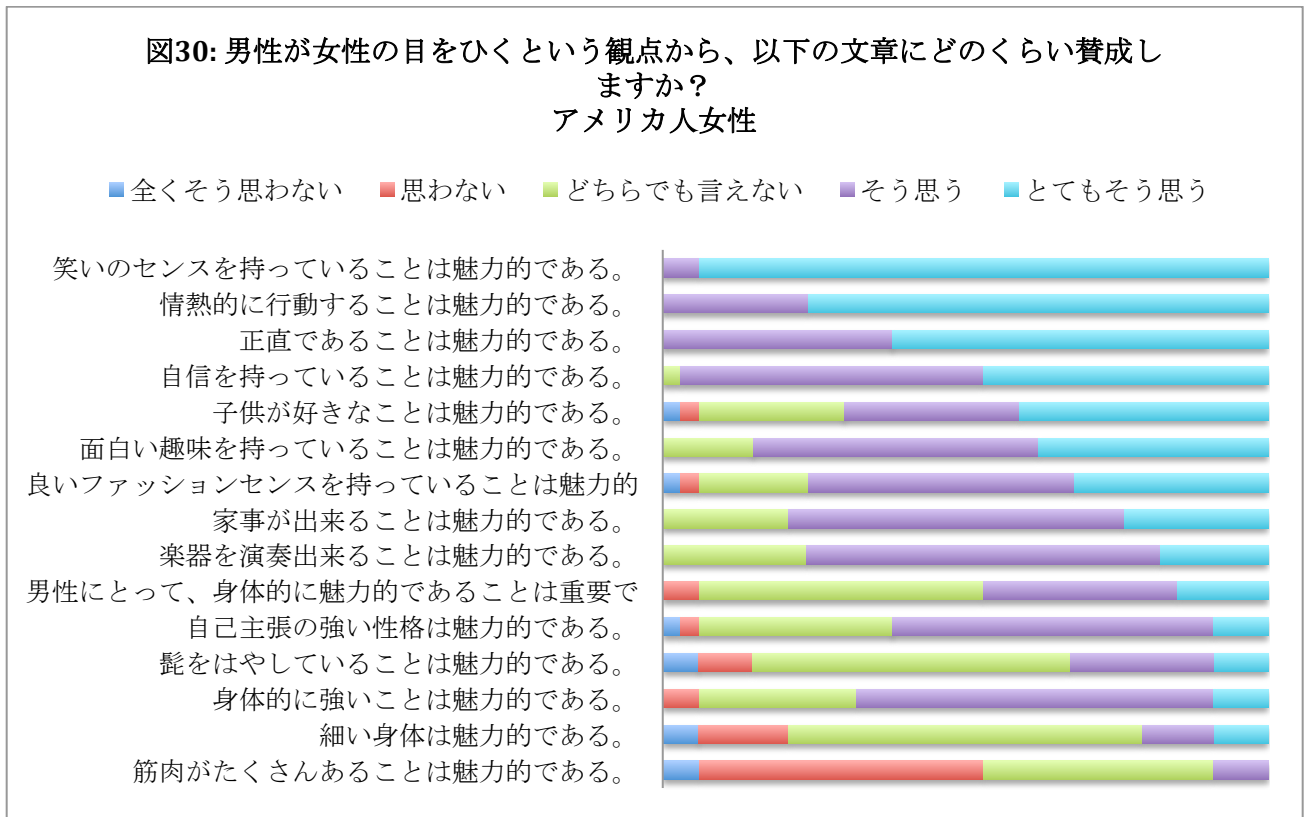


図 28 から分かるようにアメリカ人男性も日本人男性も共に、高学歴であることは女性にとって魅力的であると考えているということが見てとれる。



しかし、日本人男性は、社会的地位が高いこと、高収入であることをアメリカ人男性よりも重視している。また、宗教に属していることは、どちらの文化においても女性を引き付ける際に大事ではないと考えられている（図 29 参照）。

7.2. 日本とアメリカで、女性は男性のどこに最も惹かれるのか。



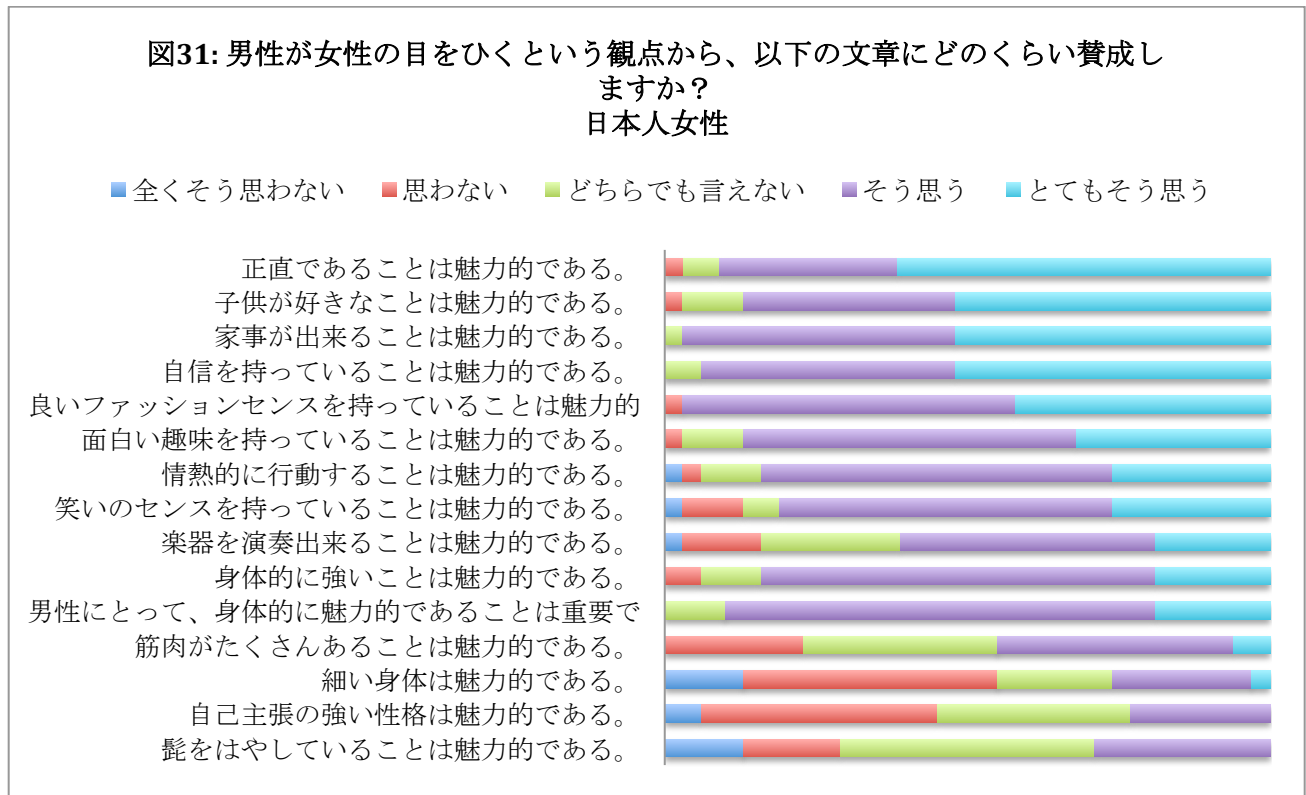


図 30 から分かるようにアメリカ人女性は、男性が笑いのセンスを持っていることは魅力的であると考えており、また彼女たちにとって、男性が情熱的に行動することも魅力的に映るということが分かった。一方日本人女性は、男性が正直であることは魅力的であると考えていて、彼女たちにとっては、男性が子供好きであること、また家事が出来ることも魅力的であるということを見出した（図 31 参照）。アメリカ人女性・日本人女性の共通点としては、どちらの文化も同じくらい、男性が自信を持っていることは魅力的であると思っている点である。

アメリカ人女性は、男性がたくましいことは、一番魅力的でないと思っているが、自己主張が強い性格であることは魅力的だと考えているようだ。また、男性が細い体を持っていることは魅力の判断に左右しないという結果であった。日本人女性は、男性の細い体は、一番魅力的でないと思っており、自己主張が強い性格には否定的な考えを持っているようである。また、男性がたくましいことについては、中間的な意見を持っていることが分かった。

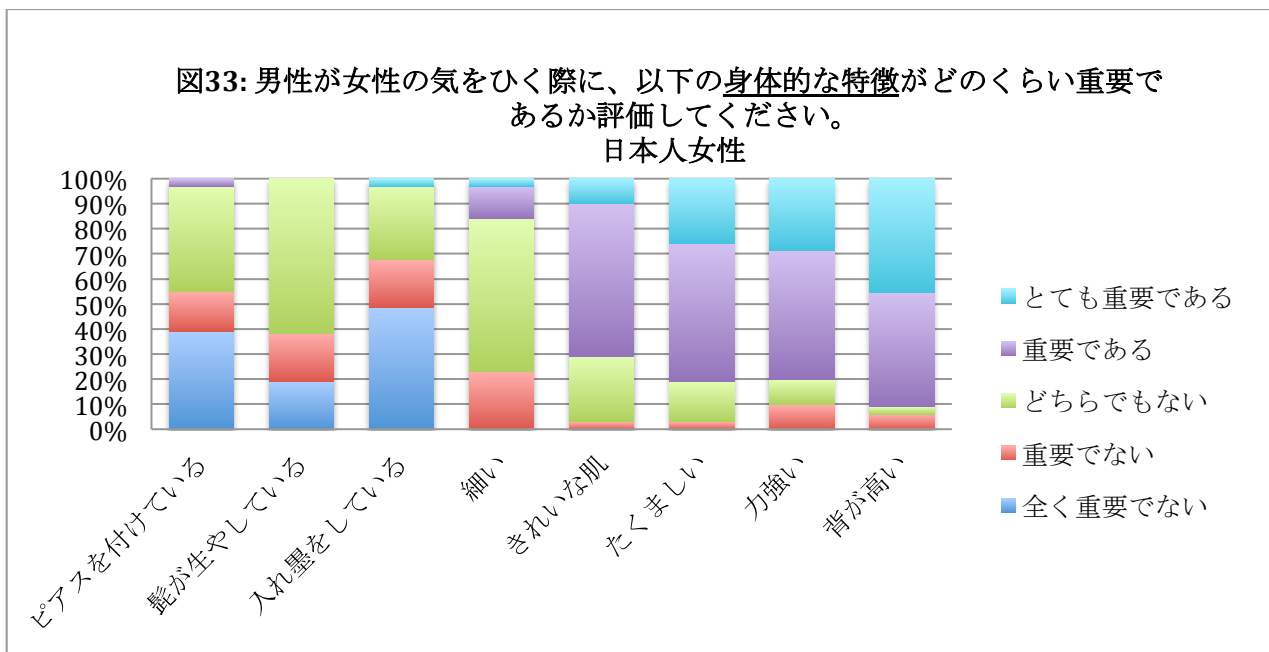
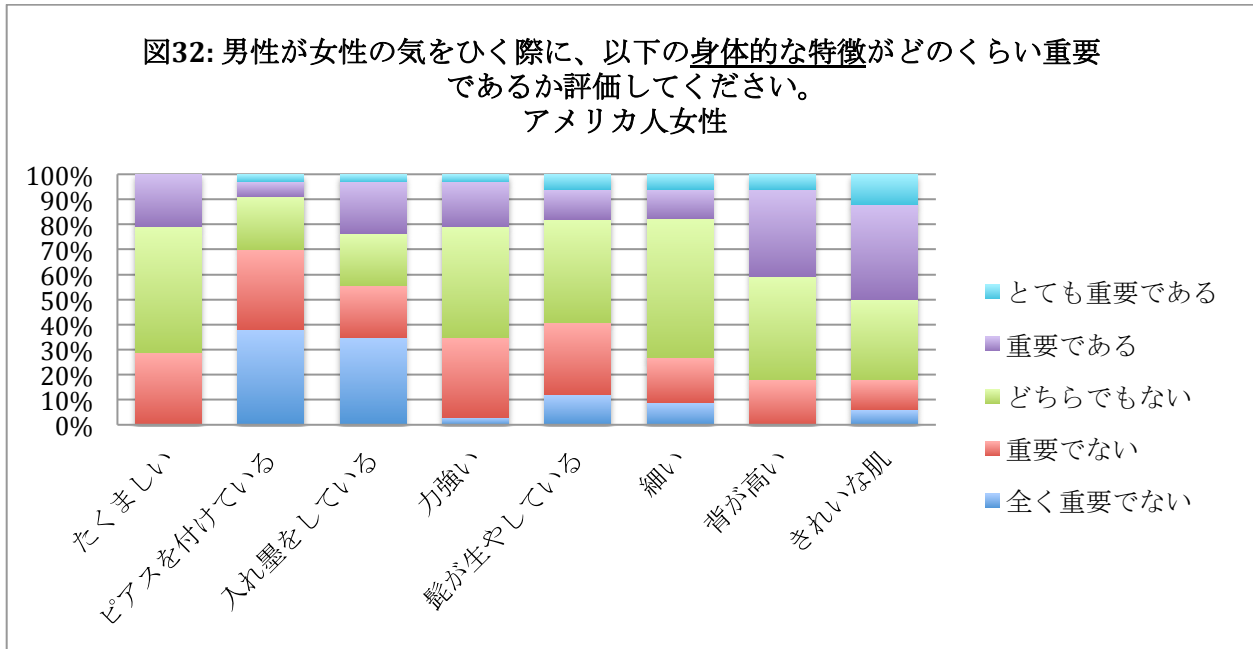


図 32, 33 から割るようにアメリカ人女性は、身体的な特徴については、どちらともいえない、もしくはあまり重要視していないという回答をした一方で、日本人女性ははっきりと、背が高い、力強い、たくましい、肌がきれいなどの身体的な特徴は、魅力的であると考えている。共通点として、両文化ともにピアスや入れ墨はあまり魅力的でないと思っていることが挙げられる。

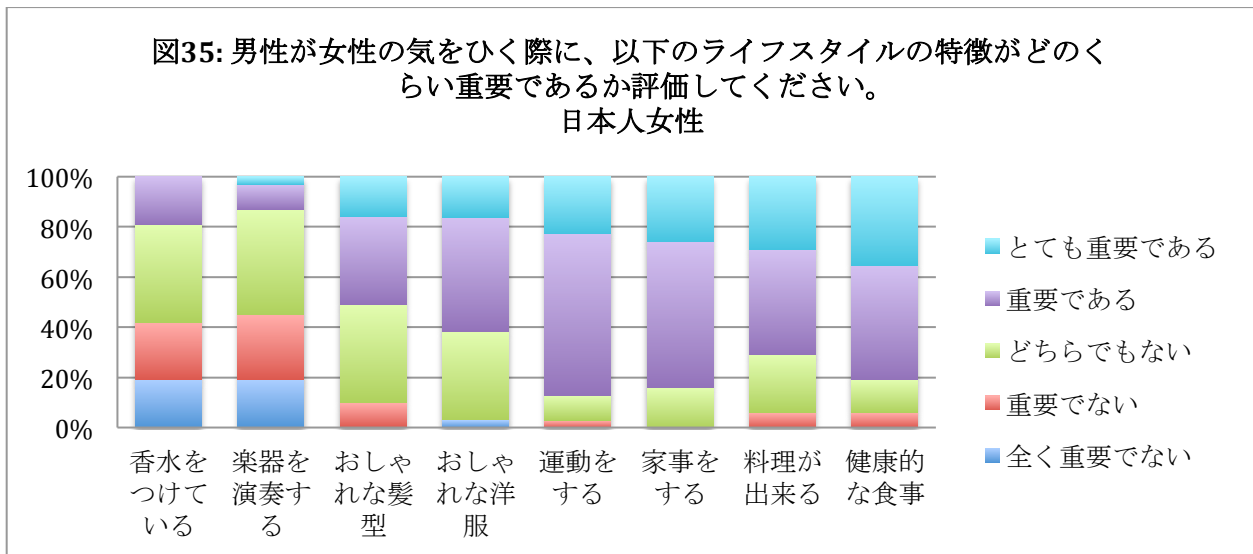
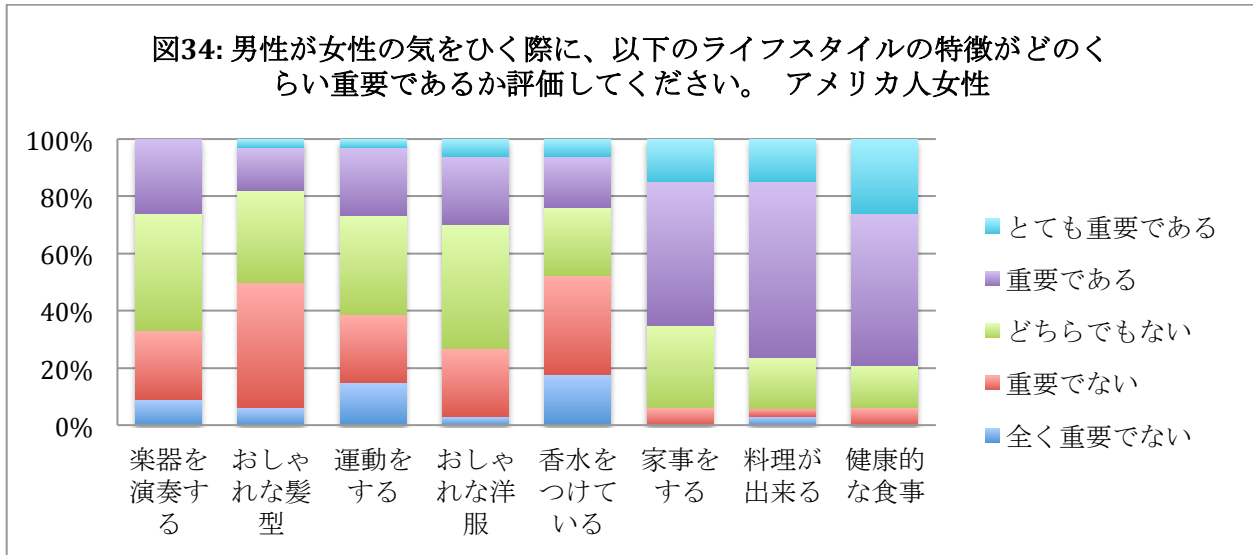


図 34, 35 から分かるようにアメリカ人女性、日本人女性ともに、男性が健康的な食事をしていること、料理や家事が出来ることは重要であると考えていることが分かった。また、日本人女性は、男性が運動をすること、おしゃれな服装や髪形をしていることは、重要だと思っているようだ。

図36: 男性が女性の気をひく際に、以下の性格的な特徴がどのくらい重要であるか評価してください。
アメリカ人女性

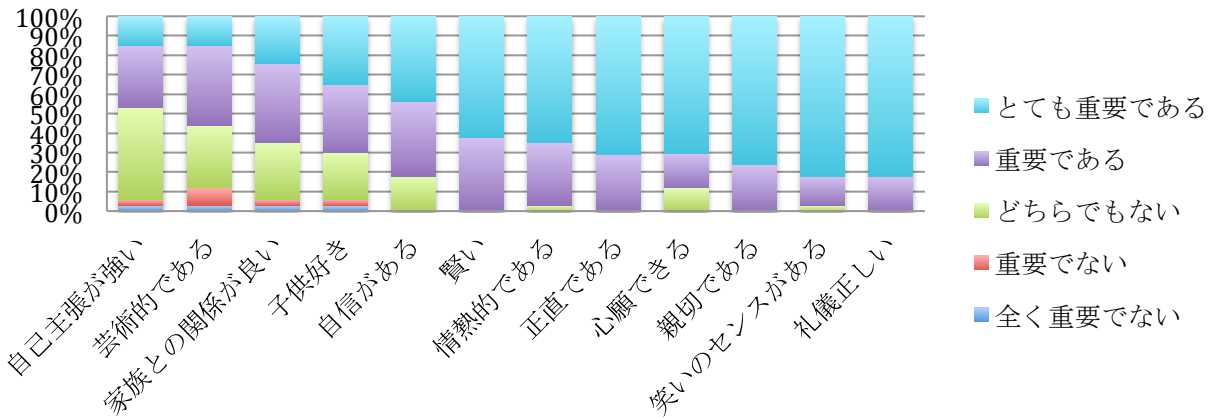
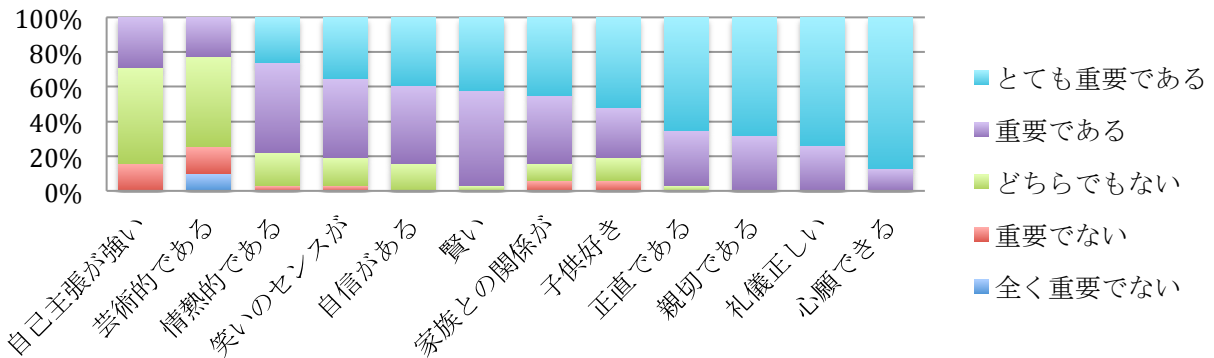


図37: 男性が女性の気をひく際に、以下の性格的な特徴がどのくらい重要であるか評価してください。
日本人女性



アメリカも日本も共に、性格的な特徴は異性の関心を引く際にとっても重要であると思っていることが明らかになった（図 36, 37 参照）。また、アメリカ人女性は、日本人女性よりも、笑いのセンスを持っていることは重要であると考えていて、日本人女性は、アメリカ人女性よりも、家族との関係が良いことは大事であると思っているようだ。

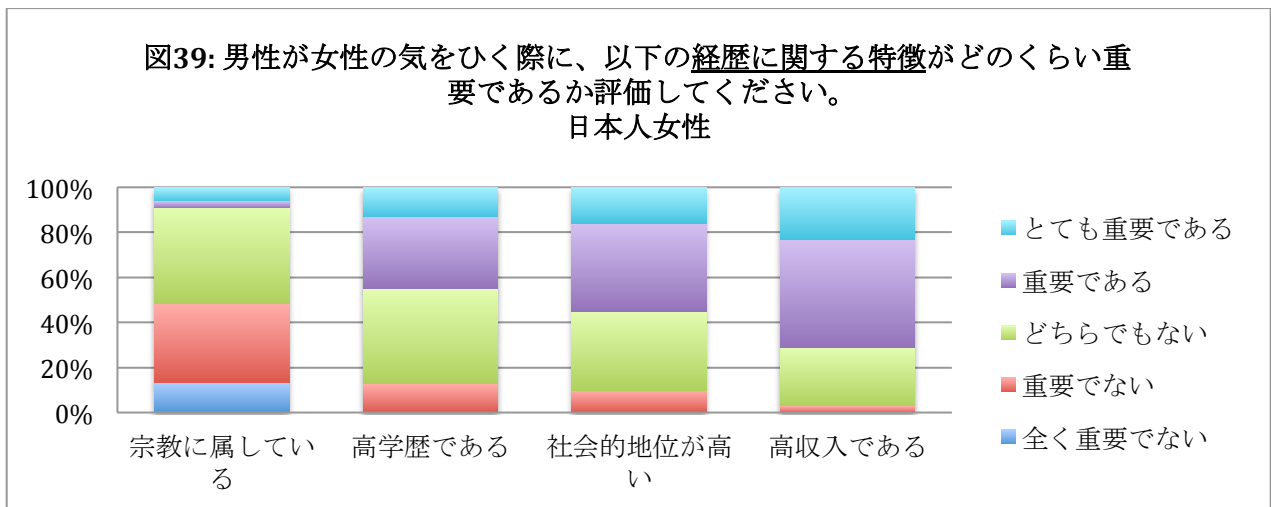
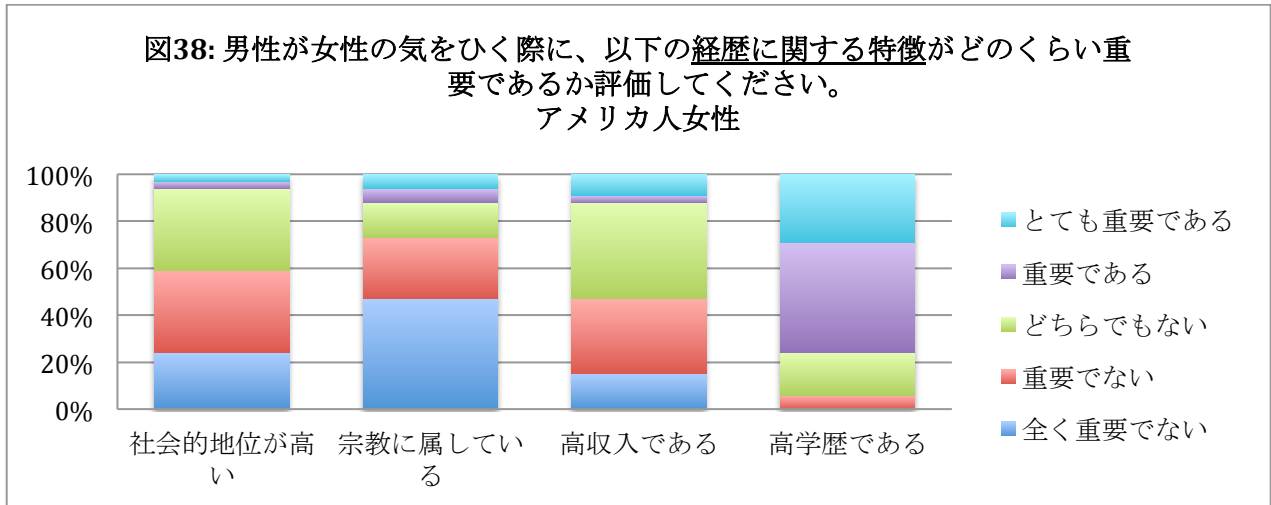


図 38, 39 からわかるように、アメリカ人女性は、男性に高学歴であることを求めているが、経歴自体はあまり重要視していないということが分かった。また、日本人女性は、収入、社会地位、教育に関する経歴を重視しているということが分かった。

7.3. 日本とアメリカで、男性の魅力に対する認識が女性の魅力に対する認識とどのように相違しているか。

表 1: どのように男性と女性の魅力に対する認識が一致するのか。

| 特徴 | アメリカ人男性 | アメリカ人女性 |
|----|--|--|
| 身体 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 背が高い 2. 力強い 3. きれいな肌 4. 細い | <ol style="list-style-type: none"> 1. きれいな肌 2. 背が高い 3. 細い 4. 髭が生えている |

| | | |
|---------|--|---|
| | 5. たくましい | 5. 力強い 1 |
| ライフスタイル | 1. 健康的な食事 2. 運動をする 3. おしゃれな服装 4. 料理が出来る 5. 家事を行う | 1. 健康的な食事 2. 料理が出来る 3. 家事を行う 4. 香水をつけている 5. おしゃれな服装 |
| 性格 | 1. 正直である 2. 礼儀正しい 3. 信頼できる 4. 笑いのセンスがある 5. 親切である | 1. 礼儀正しい 2. 笑いのセンスがある 3. 親切である 4. 信頼できる 5. 正直である |
| 経歴 | 1. 高学歴である 2. 高収入である 3. 社会的地位が高い 4. 宗教に属している | 1. 高学歴である 2. 高収入である 3. 宗教に属している 4. 社会的地位が高い |

表 1 から分かるように全体的にランキング入りしている特徴は似ているが、アメリカ人男性が「たくましい」ことは魅力的であると考えている一方、アメリカ人女性はそれよりも「髭が生えていること」を魅力的だと思っているようである。またライフスタイルに関しては、アメリカ人男性と女性で、「運動をする」「香水をつけている」という認識の点で違いが表れた。

表 2: どのように男性と女性の魅力に対する認識が一致するのか。

| 特徴 | 日本人男性 | 日本人女性 |
|---------|--|--|
| 身体 | 1. たくましい 2. きれいな肌 3. 背が高い 4. 力強い 5. 髭が生えている | 1. 背が高い 2. 力強い 3. たくましい 4. きれいな肌 5. 細い |
| ライフスタイル | 1. 料理が出来る 2. 健康的な食事 3. 家事を行う 4. 運動をする 5. おしゃれな服装 | 1. 健康的な食事 2. 料理が出来る 3. 家事を行う 4. 運動をする 5. おしゃれな服装 |
| 性格 | 1. 信頼できる 2. 親切である | 1. 信頼できる 2. 礼儀正しい |

| | | |
|----|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 3. 礼儀正しい 4. 笑いのセンスがある 5. 自信がある | <ul style="list-style-type: none"> 3. 親切である 4. 正直である 5. 子供好きである |
| 経歴 | <ul style="list-style-type: none"> 1. 高学歴である 2. 社会的地位が高い 3. 高収入である 4. 宗教に属している | <ul style="list-style-type: none"> 1. 高収入である 2. 社会的地位が高い 3. 高学歴である 4. 宗教に属している |

表2から分かるように日本人男性は「髭が生えていること」を魅力的であると思っているようだが、日本人女性はそれよりも「細い」ことを魅力的であると考えていることがこの結果から分かる。性格面の特徴に関しては、上位三つは順序も含め男女の回答は酷似しているが、日本人男性は「笑いのセンスがあること」「自信があること」を、日本人女性が考える「正直である」「子供好きである」ことよりも魅力的であると思っているようだ。

8. 研究結果

8.1. 研究質問1の結果として、

アメリカ人男性は、日本人男性よりも、男性の魅力には、性格的な特徴がより重要であると考えている。日本人男性は、アメリカ人男性よりも、男性の魅力には、身体的、ライフスタイル、また学歴・経歴に関する特徴がより大事であると思っている。アメリカ人男性は日本人男性より身体的な特徴を重視しないが、日本人男性より運動をする傾向がある。日本人男性は友達や家族などから影響を受けるが、アメリカ人男性はメディアから影響される。

以上4つの傾向を発見することが出来た。

8.2. 研究課題2の結果から、

アメリカ人女性は、男性が女性の気をひく際、性格的な特徴が重要であると考えているのに対し、日本人女性は、身体的特徴、ライフスタイル、また社会・経済的な経歴に関わる特徴をより重要視している。日本人女性は、男性に家族と良い関係を築く能力を持っていることを望んでいる。一方、アメリカ人女性は、男性に強く自立した性格

を持つことを期待している。というアメリカ人女性と日本人女性の「魅力に対する」認識の違いを発見することが出来た。

8.3. 研究質問3の結果を通して、

魅力に対する認識の大きな差は、同じ国の男性・女性間よりも、アメリカと日本の国家間に見られた。アメリカ人男性・女性は、日本人男性・女性よりも、魅力に対する特徴のランキング自体は似ていたが、各性別間でのランキング順序の違いは多く見られた。日本人男性・女性は、アメリカ人男性・女性の結果よりも、お互いの魅力に対する認識は異なっていた。しかし、各性別間での、ランキング順序の違いはあまりなかった。という3点に気づくことが出来た。

9. まとめ

日本のメディアと比べると、アメリカでは、男性はよりたくましく描かれることが多いが、アメリカ人女性は日本人女性よりも、男性がたくましくあることを重要視していないこと。全体的に、男性の魅力を判断する際に、日本人男性や女性はアメリカ人男性や女性よりも、外見、また経済的、社会的な経歴を重視している一方、アメリカ人男性や女性は、性格的な特徴が最も大事であると考えていること。日本で「草食系男子」の数が増加しているが、日本人女性はたくましい「肉食系男子」により惹かれる傾向があること。様々な回答が見られる個人主義のアメリカ、グループで回答が似ている集団主義の日本、この研究の結果は上記の理論と一致してみえること。

以上の4点を結論づけることが出来ると思う。

参考文献

- Currie, T., Little, A. (2009). The relative importance of the face and body in judgments of human physical attractiveness. *Evolution and Human Behavior*, 30(6), 409-416.
- Engelhart, K. (2009). The grass-eating boys of Japan. *Maclean's*, 122(25), 34.

- Gangestad, S., & Scheyd, G. (2005). The evolution of human physical attractiveness. *Annual Review of Anthropology*, 34, 523-548.
- Otake, T. (2009). Blurring the boundaries: As the future facing japan's young people changes fast, so too are traditional gender identities. *McClatchy - Tribune Business News*, .
- Triandis, H. C., Bontempo, R., Villareal, M. J., Asai, M., & Lucca, N. (1988). Individualism and collectivism: Cross-cultural perspectives on self-ingroup relationships. *Journal Of Personality And Social Psychology*, 54(2), 323-338.
- Yamagishi, T. , Hashimoto, H. , Cook, K. , Kiyonari, T. , Shinada, M. , et al. (2012). Modesty in self - presentation: A comparison between the usa and japan. *Asian Journal of Social Psychology*, 15(1), 60-68.
- Kyodo. (2012, June 19). Young Japanese men' s trend: Trying to look pretty. Retrieved from <http://www.japantimes.co.jp/news/2012/06/19/national/young-japanese-mens-trend-trying-to-look-pretty/#.U1fb0se9g30>